

DX：デジタルトランスフォーメーション
GX：グリーントランスフォーメーション

～ DX・GX時代に必須 ～

受講者募集中!!

スマート家電ネットワーク 施工技術

もう一度LANの基本技術
を学びたい方に最適

受講料（二日間）
6,600円（税込）

2022.11月2日（水）、8日（火）

9時45分～16時30分（6時間）昼休み：45分

【会場】 南東北総合卸センター 第9会議室（3階）

郡山市喜久田町卸1丁目1-1

※会場の問合わせ先 024-959-6001

※1階 レストランハッピータイム 営業時間11:00～14:00 ※無料駐車場有

【対象者】 福島県電機商工組合会員 ※受講生はパソコン(Windows10)を持参下さい。

【定員】 20名 *最小催行人数10名

*応募多数の場合は先着順ですが、1社あたりの応募者が多い場合は、受講者数を調整させていただきます。

【申込締切】 10月7日（金）

【講師】 ポリテクセンター福島 電気・電子系指導員 大石 節

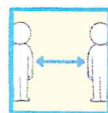
2022年度オープンコース担当「シーケンス制御実践技術」、「FAセンサ活用技術」、「歩行型ロボットで学ぶ組み込みシステム設計技術」、「画像処理・認識プログラム開発」、「AI活用による画像処理認識」など

（コースのねらい）

DX（デジタルトランスフォーメーション）、GX（グリーントランスフォーメーション）の加速化により、個人宅、事務所内など、住宅設備・家電のスマート化へ対応できるIoTをはじめとするネットワーク技術の基本を学びなおし、お客様へ寄り添った安心・安全な生活環境につながる基本技術が習得できます。

本コースは、福島県電機商工組合の皆様と一緒に企画しました。とりわけ、LANに関する専門知識に併せて基本技術の学び直しの機会となるようなコース内容を準備しました。もう少し詳細の内容は、裏面をご覧ください。

安心してご受講していただくために…（ポリテクセンター福島の取り組み）



十分な広さ
を確保



換気の
徹底



入口での
手指消毒
+
機器の消毒

※ご受講の際はマスク
着用、検温等のご協力
をお願いします。



主催

福島県電機商工組合

〒963-8044 郡山市備前館2-30-2

TEL 024-922-3869 FAX 024-939-2084

Email : f-den@mx5.et.tiki.ne.jp

共催



（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構

ポリテクセンター福島

訓練課

〒960-8054 福島市三河北町7-14

TEL : 024-534-3695（セミナー担当）

□訓練実施状況の確認。福島県電機商工組合会報、理事会等の報告用のため、訓練中に写真及び動画撮影を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。

令和 4年 月 日

企 業 名			申込担当者名	
会社規模 ※該当に☑	☐ A 1～29人	☐ B 30～99人	☐ C 100～299人	

コース名	訓練開始日	受講者氏名	ふりがな	性別	年齢	就業状況(該当に☑)
DX化に対応 スマート家電施工基本技術	令和4年11月2日(水)	1 生年月日 S・H 年 月 日		男・女		☐ 正社員 ☐ 非正規雇用 ☐ その他(自営業等)
		2 生年月日 S・H 年 月 日		男・女		☐ 正社員 ☐ 非正規雇用 ☐ その他(自営業等)
		3 生年月日 S・H 年 月 日		男・女		☐ 正社員 ☐ 非正規雇用 ☐ その他(自営業等)
		4 生年月日 S・H 年 月 日		男・女		☐ 正社員 ☐ 非正規雇用 ☐ その他(自営業等)
		5 生年月日 S・H 年 月 日		男・女		☐ 正社員 ☐ 非正規雇用 ☐ その他(自営業等)

コース概要

教科の細目	内 容
1. LANの概要	(1) LANの基本構成とその種類 (2) Ethernet及びTCP/IPプロトコルとIPアドレスの設定 IPアドレスの意味と付け方、整理方法、DHCPの仕組みなど (3) ネットワーク機器の役割(ハブ、ルータ、スイッチ) (4) IoTとスマート家電に関する技術動向 (5) スマート家電の各種機能
2. ネットワーク環境設定	(1) 無線ネットワーク (2) ネットワーク環境の確認
3. LANケーブル作成	(1) RJ-45コネクタの意味とLANケーブルの作成
4. スマート家電接続演習	(1) ネットワークプリンタ設定、(2) 照明器具、(3) 電子レンジ (準備の都合で変更の可能性有り)
5. LAN障害検知	(1) 電波状況のビジュアル化(可視化)とチェック方法 (2) 電波強度に影響を及ぼす要素 (3) Wi-Fi Analyzer(アナライザー) (4) 障害・トラブル対応事例(受講者からの発表)
6. 質疑応答	(1) 顧客へのわかりやすい説明方法など(確認)